

令和元年度第2回小牧市交通安全・防犯対策協議会会議記録

- 1 開催日時 令和元年10月2日(水)
午前10時30分～午前11時45分
- 2 開催場所 小牧市役所 東庁舎5階 大会議室
- 3 出席者 野々川和明 外16名
《事務局》
市民生活部長、市民生活部次長、市民安全課長、
市民安全課主幹、交通防犯係長、交通防犯係
《小牧警察署》
小牧警察署交通課長、生活安全課長
- 5 報告
(1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について
(2) 防犯対策補助金の見直し状況について
- 6 議題
(1) 高齢者による交通事故抑制のための取り組みについて
(2) 児童・生徒交通安全ポスター募集について
- 7 その他
- 8 議事内容

(永井口主幹)

議事に入ります前に報告させていただきます。当協議会は、「小牧市交通安全防犯対策協議会規則」の第5条に基づき、公開が原則となっておりますが、本日は傍聴者がおりませんでしたので、傍聴者不在で進行させて

いただきます。

それでは、野々川会長からごあいさつをいただきます。

(野々川会長)

大変お忙しい中、委員の皆様には出席をいただきありがとうございます。また、この席に小牧署の山本交通課長、山田生活安全課長にご臨席をいただいております。ご多忙の中、大変ありがとうございます。

委員の皆様には日頃、交通安全や防犯対策の事業の中で積極的にご尽力いただきありがとうございます。交通安全や防犯対策は今の社会情勢の中で最重要課題であると考えております。ちょうど一昨日に秋の交通安全運動が終わりましたが、今朝のテレビではその期間で愛知県では5人の交通事故による死者が出た、そのうち2名は高齢者の関連事故であると聞いております。前回会議でも委員にお願いしておりますが、今回高齢者に関する事故の防止・抑止対策について審議をしていただきます。簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

(永井口主幹)

ありがとうございました。これ以降の議事の進行を会長にお願いいたします。

(野々川会長)

報告(1)「小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について」報告をお願いいたします。

(山本交通課長)

9月から着任いたしました。よろしくお願いいたします。小牧署管内での8月末の交通事故発生状況ですが、管内において交通事故による死者は1人です。去年は3人でしたが、今年は1人です。人身事故は419件で前年より64件の減少です。負傷者数は502名で前年より76人の減少で、全体として減少傾向で推移しております。愛知県下でも前年と比べて減少傾向です。愛知県は16年連続交通死亡事故死者数ワーストですが、

今年は今現在全国で2位となっております。今年は今年間でのワーストから脱却することを目指しております。当事者別での交通事故統計があり、四輪車が断トツに事故が多く、次に自転車の事故が多いです。自転車関連事故が多いので、自転車事故防止とともに自転車への指導取締りを強化していくということで取り組んでいきます。皆様ご存じのことと思いますが、9月21日午後6時30分ごろに上末の国道155号バイパス北側の歩道で中学生の自転車が歩行中の75歳男性をはねて、男性は重体という事故があり、男性は今現在も予断を許さない状態です。事故形態としては歩行中の男性の後ろから追突したものです。自転車はライトを点けていましたが、発見が遅れ事故が起こったということです。自転車事故はこのような形態に限らず、駅やショッピングセンターで出勤中や帰宅中等の自転車が乗用車と事故を起こすことがあります。道路形状別の事故件数をみると単路での事故が一番多いですが、交差点での事故が次に多いです。自転車は非常に便利なので、皆さんも乗車されると思いますが、自転車は基本的に車両の一種で車道を走るのが原則とはいえ、交通量が多いとそれは危険を伴います。そのような場所では歩道も自転車通行可という規制がある道路もあります。ほとんどの場合は車道走行が基本ですが、歩道上の事故が発生しているため歩道でも自転車は車道寄りを走行することの周知に努めてまいります。それから10月以降は日暮れが早くなるため重点として薄暮時の事故を防止していきます。また飲酒運転による事故ですが、特に週末と深夜の検問取締りを強化していきます。12月になると忘年会等飲酒の機会も多いので、年末は飲酒運転事故の防止にも取り組んでいきます。

(山田生活安全課長)

小牧市における犯罪発生状況について説明させていただきます。まず、発生状況ですが、右肩下がりで年々減少しております。8月において昨年在123件で今年は92件と31件減少させることができました。続いて住宅対象の侵入盗の発生状況ですが、民家に押し入る侵入盗です。8月末で23件と前年の54件より半減しております。皆様のご協力の賜物です。自動車関連は減少しておりますが部品ねらい、これはナンバープレートねらいが多いですが、これが昨年比で増加しております。ナンバープレートに盗難防止ネジを付ける等を皆様に啓発していきたいです。特殊詐欺です

が、前回会議までは小牧署管内では発生していませんでした。しかし被害金額は5万円ぐらいですが、7月に架空請求被害が1件発生しました。県下では減少傾向ですが、銀行員や警察官をかたってキャッシュカードを預かって、暗証番号まで聞き出し、銀行から口座の金を全て引き下ろされたという被害が相変わらず発生していますので気を付けてください。他人がキャッシュカードを預かり、暗証番号を聞くということはありませんのでご注意をお願いいたします。最後に愛知県における小牧市の状況です。前回会議で市長が犯罪率を非常に気にされているとのことでしたが、名古屋市を除いた県内37市で小牧市は犯罪率ワースト1位です。ただ必ずしも治安が悪いことではありません。県下では市区町村で見ると名古屋市中区が最も悪く24.53です。1000人の内24人強が被害に遭っているとのことです。比較的平穏と思われる東区や千種区、熱田区は7ぐらいで、小牧は5.27です。全体的な犯罪数を減らすことは大切なことですので、皆様ご協力をお願いいたします。

(野々川会長)

ありがとうございました。何か質問はありますか。

(中村委員)

桃花台交番の信号機についてですが、信号を渡るときにすごく時間がかかるのに、信号機の信号が切り替わる時間が短いです。斜め横断のスクランブル交差点ではないので、直角にまがらなければならず、手押し車を押した人では横断に時間がかかります。東部市民センター前の交差点ではそのようなことはないです。信号機の切り替え時間はどのように切り替わる時間を決めているのでしょうか。

(山本交通課長)

周辺の信号機との関連でそのような設定になっていると思われます。ある場所だけ時間を長くすると、周りとの関連がありスムーズな交通が得られない事情あるといけないので、考慮して信号のサイクルを決めたと思われます。

(中村委員)

視覚障がい者向け信号機が小牧では少ないと思います。費用の問題もありますが、どうでしょうか。

(山本交通課長)

音が出る信号機では、周辺の方から音が出るのはやめてほしいとの要望が出る場合があります。視覚障がい者が多く利用する交差点の場合は信号の設置をします。周辺の環境に応じて設置しておりまして、昼は音が出るが、夜間は音を出さないよう運用をすることもあります。

(一戸委員)

全国の警察でバス停留所の安全確認チェックをしているとニュースで聞きました。バスの停留所は人が乗り降りするし、後ろで車がいったん停車します。小牧市では状況はどうでしょうか。

(山本交通課長)

停留所でバスが何台も停車し危険であるという情報はありません。

(野々川会長)

ありがとうございました。次に(2)「防犯対策補助金の見直しの状況について」を事務局から報告してもらいます。

(伊藤市民安全課長)

第1回の対策協議会で議題としました防犯対策補助金の見直しの状況についてご説明します。

平成16年から引き続き実施中の防犯対策補助制度を一度リセットして、新たに補助制度を創設する予定です。

補助対象とする物品を、鍵の交換、防犯砂利等を除き現在の犯罪情勢に合わせて、録画機能付き防犯カメラ、録画機能付きインターフォン、特殊詐欺対策として迷惑電話防止機能付きの固定電話の3点に絞り、事前申請により、購入予定の物品が対象物品かどうかを確認できる形にして、来年度予算を要望したいと考えています。

詳細が決まりましたら、広報、ホームページ等で周知する予定です。

(野々川会長)

ただいま説明のありましたことについて、ご意見ご質問等がありましたらお願いします。

(舟橋委員)

これまでの防犯対策補助金の世帯施行率を教えてください。

(伊藤市民安全課長)

これまでは約7,500世帯が利用し、今年10月1日現在で小牧市世帯数は68,174ですので、約11%となります。

(舟橋委員)

これまでの制度をリセットして、新制度を導入するということですが、以前に旧制度に申請された方は新制度でも申請できるということですか。

(伊藤市民安全課長)

一度リセットとなりますので、以前補助を受けた方でも新しく対象製品を取り付けた方は対象となります。

(野々川会長)

ありがとうございました。

それでは、2の議題(1)に移ります。

「高齢者による交通事故抑制のための取り組みについて」事務局から説明をお願いします。

(伊藤市民安全課長)

昨年中の県内の交通死亡事故死者数は189人と68年ぶりに200人を下回りました。また、市内においては一昨年に続いて3人と過去最低を記録しました。

しかし、都道府県別では16年連続ワーストワンと厳しい状況が続いて

います。近年は、事故死者全体の半数以上を高齢者が占めており、また、高齢者が加害者となる交通事故も少なくありません。

交通死亡事故ゼロは私たち全員の願いであり、達成に向け高齢者の関係する交通事故を抑止するための対策を重点的に実施していくことが重要と考えます。

そのため、本対策協議会において「高齢者による交通事故抑止のための取り組み」について検討をお願いします。

前回に検討をお願いいたしましたが、今回の対策協議会の出欠の確認の際、事前に委員の方から意見をいただいておりますので、意見を出していただいた委員の方にご発言いただきたいと思います。

(野々川会長)

4名の方から事前に意見をいただいているようですので、委員から順に発言していただきたいと思います。

(舟橋委員)

私のほうから事前に意見を出したのは、高齢者運転事故のヒヤリハットについてです。高齢運転者の事故の個々について、ハインリッヒ法則の観点による検証はなされていますでしょうか。保険会社や修理業者等の協力を得て、微細、自損事故を繰り返す運転者の情報を得て、対策を練られたらどうでしょうか。高齢運転者の場合、免許更新等の際、家族の意見書等を得ることも必要ではないかと思えます。事故の第一当事者となった場合、その家族も責任が問われるというような法整備が肝要と思えます。

(宮田委員)

安全装置の取り付けについて意見を出しました。大事故のほとんどがアクセルとブレーキの踏み間違いが原因なので、それを防ぐ装置の装着費用4万か5万円への補助金を出してはどうかということです。補助があれば皆さんは装着をするのではないかと思えます

東京都は9割の補助を出しているようなので、小牧市も検討をお願いします。

(^{きどころ}城所委員発言)

高齢者になると免許の返納を進めると困ることがありますが、必要と思います。またサポートカーを薦めることも大切です。9月26日のサポートカー教室を体験し、ブレーキアクセル踏み間違い防止するためのサポートカーの機能を実感しました。宮田委員が言われた防止機能は大切だと思います。

(林委員)

高齢者の場合は身体的な機能低下と精神的な機能低下のうち精神的な機能低下が体の機能を損なっているデータがあります。返納のためには家庭の協力が大きいです。精神的な機能低下は家庭のコミュニケーションによることが大きいので、家庭内での広報が大切ではないかと思います。実際返納したらどうなるかを気づかせることも大事です。運転免許証返納でどのようなコスト面で効果があるかを東京で調べると、免許を返納してタクシー等に切り替えると運転にかかる費用である28万3,000円から11万円ものコスト削減効果があります。このことを家庭に広報してはどうでしょうか。全国の返納の特典を調べると、北海道で65歳以上の方へタクシー料金1割引きがあります。免許証返納するとタクシーを使用するので、タクシー料金1割引きは役に立ちます。愛知県ではありきたりの特典しかないので、直接交通安全につながる広報が必要です。

筑波大学が愛知県の65歳以上の2,846人を対象に最初の調査から10年後に返納状況調査しました。そのうち140人が返納し、さらに痴ほう症の調査をしました。返納しない人より返納した人は2.8倍もの比率で痴ほう症にり患したとのことです。これは頭を使用しないからということ。乗る、乗らないより安全性を家庭でPRすることが大切だと思います。家庭向けの返納広報が大事です。

(野々川会長)

ありがとうございました。委員から意見をお聞きしました。これらの意見について、事務局や小牧警察署から説明はありますか。

(山本交通課長)

林委員からの免許証返納のメリットの理解周知について話がありました。小牧市では小牧タクシーとあおい交通が運転経歴証明書を持つ70歳以上の方に対して料金を1割引きとしています。これらの会社は高齢者交通安全サポーターです。犬山でも犬山タクシーと尾張北部タクシーが70歳以上を料金が1割引きとしています。江南市では愛北タクシーで同様の制度があります。各タクシー会社で連携をとっています。

愛知県警のホームページで高齢者交通安全サポーター一覧が掲載されています。運転経歴証明書を持つ人への特典が警察署管内ごとに載っています。

本年政府が経済産業省等の関係省庁でサポートカーと高齢者の運転免許更新について協議を始めるとのことです。高齢者については安全機能のついた車を持っていれば免許証の更新を認めるとのことです。安全機能の基準を国で設けて、その車を持っていることを確認すれば認められるとする方針のようです。

(野々川会長)

ありがとうございました。その他にはございませんでしょうか。

(塚本)

事務局から説明いたします。運転免許の自主返納をしやすい環境を作るために、運転を続けることの様々なデメリットや運転をやめることのメリットに気づく「きっかけ」を作ることも大切だと考えています。

街頭での呼びかけ、リーフレットの活用による啓発を行っていきます。他の自治体では、自主返納の特典として、バスの回数券を配布するなどしていますが、本市では市内在住の65歳以上の方は、こまき巡回バスが無料で利用できます。巡回バスは市内全19コース毎日運行しており、市民の便利な足として利用していただいています。

次にサポートカーのPRについてです。高齢者は加齢に伴う視力、記憶力、身体機能の変化により、交通上の危険を察知・回避する能力が低下する傾向があります。サポートカーとは、ペダルの踏み間違い時加速抑制装置や衝突被害軽減ブレーキを搭載した車です。サポートカーによる安全運

転支援は、能力の低下による交通事故を削減する効果が期待できます。

市では、警察、事業者と連携して、サポカーについて普及促進や、交通安全教室による実地体験等を行っております。9月26日に小牧市自動車学校においてサポカー体験教室を実施しました。サポカーについて理解いただけたのではないかと思います。

安全装置の取付けについてです。アクセル、ブレーキの踏み間違いを防止する後付けの安全装置が販売されていることは存じております。国の安全認定制度は確立されておられません。

また、東京都をはじめとする、一部の自治体で後付けの安全装置を取付けた場合の補助制度が報道されております。一部の自動車メーカーには後付けのものはありますが、あくまで加速抑制に関するもので、必ずしも安全性が保障されるものではありません。小牧市として、補助制度を創設するかは、他市に対する調査などを通じ、更には国や県の動向を注視しつつ、性能認定制度の創設を待ちたいと考えています。

高齢運転者事故についてのヒヤリハットですが、交通事故発生状況に関する情報を小牧警察署と共有し、発生実態に即した啓発を交通安全教室等で行います。最新の事故事例に基づいて、多発傾向や多発時間帯などについて注意喚起を促したり、市内で発生した死亡事故の詳細を伝え再発防止を図って参ります。

(野々川会長)

いただいた意見に対して、事務局から説明をいただきました。ほかの委員の皆さんからも何か意見、提案等ありましたら、発言をお願いします。

(一戸委員)

どうして免許証の返納が進まないのかということの裏に免許返納後の交通手段という問題があります。私は東京にいましたが、私鉄やバス等交通手段が多く車がなくても生活に不自由はなかったです。巡回バスの時間の増設や料金の低減等を充実させたいです。

高齢者のためのタクシーですが、岩倉市や犬山市では85歳以上の方へタクシーの補助券を市が発行しているとのこと。まちづくりの委員会でも言いたいです。認知症は年齢が高くなると発生率が高くなるし、家族

や本人が大変です。保健センターや老人クラブでの勉強会の実施状況はどうでしょうか。あおり運転では罰則を法律化しようという動きがありますが、高齢者に対する免許の更新の在り方の動きはどうなっているのでしょうか。自動車学校ですが、学校での講習会でのレジュメをもう少し充実できないでしょうか。自動車学校で合格しても、卒業後は忘れてしまい運転すると一時不停止等の違反をし、老人だとアクセルブレーキの踏み間違いや一時不停止をします。それらが交通違反に多いです。回答が得られる点だけお聞きしたいです。

(山本交通課長)

免許制度の在り方という大きな問題提起をいただきました。一律に一定の年齢で免許を与えないことはできません。おっしゃられたとおり東京と小牧では交通事情が違い、車がなくても東京は私鉄、地下鉄等の交通網があり、車がなくてもそれほど困りません。そういうことがない地方の事情がありますので、どうしても車が必要ということだと安全運転サポート機能のある車があれば免許証を更新することの検討に入ったと思います。そのあたりは今後の課題でもあります。

(野々川会長)

ありがとうございました。4人の委員からの意見を基に事務局から説明をいただきました。他の委員から意見はないでしょうか。

(服部委員)

老人クラブの服部でございます。高齢者対策でいろいろとご心労をおかけし申し訳ありません。最近高齢者がいろいろ事故を起こしまして高齢者が時々犯罪者扱いです。18歳は道路を暴走し80歳が道路を逆走するという川柳もあり、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。交通安全協会などから交通安全のいろいろなチラシをよくいただきますが、認知症予備軍は車に乗っていないときにチラシを渡されても忘れてしまいます。運転時の交通安全の訴えをいただくことが大事です。行政では路面の色表示を行いますし信号横断の音などの話がありましたが、ハンドル操作で道路の外側線に寄ると音が出ますがそのようなヒヤリハットに気づかせる訴えが必要

です。横断歩道の信号の話が出ました。青信号で横断する権利はありますが、権利だけでなく義務の履行も必要であります。時間がかかりますが青の時に渡ることができるとともに２段階に分けて渡らなければならないという義務にも注意しないとイケないです。老人は年をとると権利ばかり主張します。今度高齢者の集まりで警察署長に来賓として来ていただきでご挨拶をいただきます。その時に注意を高齢者へ訴えていただきます。いろいろと活動しておりますので、高齢者が犯罪者扱いされないように暖かく見ていただければと思います。

(会長)

服部委員は高齢者の問題について最前線で活躍されておられます。この問題について、事務局は何か考えがあるでしょうか。

(伊藤市民安全課長)

今、貴重なご意見をいただきました。事務局といたしましては、高齢者による交通安全のための取り組みにつきましては、サイン板をかかげて路上で啓発活動をする等、警察や関係団体と連携して今後さらに検討を進めますので、今後も貴重なご意見をよろしくお願いいたします。

(野々川会長)

この問題は大変幅が広く難しい問題ですので、ただいま事務局から説明がありましたように、できるものは早期に進め、予算や時間等のかかるものは検討をお願いいたします。議題（１）は終了とさせていただきます。

次に議題（２）「児童・生徒交通安全ポスター募集について」に移ります。事務局は説明をお願いいたします。

(内堀係長)

昨年の対策協議会でもお話しさせていただきましたが、児童・生徒に対し交通安全についての関心を深めさせるとともに、広く交通安全を呼びかけ、交通安全に対する意識の向上を図るために市内小中学校に対して交通安全に関するポスターを夏休みに募集いたしました。初めての試みでしたが902点の作品が応募され、そのうち特選7点、入選20点を選びます。

特選は市内巡回バス車体にラッピングし、交通安全啓発の一端を担ってもらう予定です。

お手元の資料に小牧市と小牧署で選定しました作品を掲載させていただきました。いろいろなテーマの作品があります。ご承認をいただきたいと考えております。

(野々川会長)

選定した作品で内容の承認をとということですが、皆さんいかがですか。

(委員の承認)

(野々川会長)

ありがとうございました。事務局には今後の取り扱いについてよろしくお願いします。

次に3その他に移ります。事務局は説明をお願いいたします。

(内堀係長)

先ほど承認いただきました、児童・生徒交通安全ポスターですが、特選となりました7点については、11月ごろから巡回バスにラッピングする予定です。これについては、後日担当の都市整備課から広報にも掲載する予定です。また、今回入選の作品を提出していただきました子どもたちに対して、年末の交通安全運動期間中の式典において表彰も予定していますので報告させていただきます。

高齢者の交通事故抑制に関して市民安全課では反射材をいろいろと用意しております。高齢者の方には市民まつりやいきいき小牧で配布していきたいと考えております。

(野々川会長)

ありがとうございました。それでは、全体を通してご意見・ご質問等がありましたら、お願いいたします。

(落合委員)

防犯対策補助金がありますが、高齢者交通安全対策補助金があってもいいのではないのでしょうか。高齢者へのドライブレコーダー装着補助金はどうでしょうか。さらにレコーダーに録画された運転を見てチェックするモニタリングができないのでしょうか。高齢者は運転のうまい方、下手な方がいます。一律に対策することはおかしく、レコーダー補助金とその映像モニタリングが個々の高齢者に役立つと思います。これについて回答は必要ありません。

(会長)

回答は必要ありませんが、留意していただきたいです。事務局から何かありますか。

(伊藤市民安全課長)

いろいろなご意見ありがとうございます。4名の委員の方や高齢者団体の服部委員、落合委員から貴重なご意見をいただきました。今後社会的な問題となることもありますが、総合的に考えて警察や事業所、皆さまと協力し、いろいろと提案していただく等のご協力をお願いいたします。

本日の協議事項を参考とさせていただき、交通死亡事故のない、安心して暮らせる安全な小牧を目指します。今後もこういった会議へのご協力をお願いいたします。

(野々川会長)

只今、課長から総括の話がありましたが、できるものは早く行い、できないものはまた協議しながら進めてほしいです。本日の議事は終了といたします。進行を事務局にお返しします。

(永井口主幹)

ありがとうございました。

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。

これもちまして、第2回小牧市交通安全・防犯対策協議会を閉会させていただきます。

今年度の交通安全・防犯対策協議会については、今回の協議会で終了の予定です。

来年度はまた改めてお知らせさせていただきますので、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。